

# 2025春季生活闘争 1万人総決起集会を開催!!



## 2025春季生活闘争1万人総決起集会

3月2日(日)、エディオン久屋広場にて2025春闘1万人総決起集会を開催しました。これからヤマ場を迎える春闘での要求実現の気運を盛り上げるため、約9,500人の仲間が集いました。

集会前のデモ行進から始まり、会場ではハリセンを使って一体感を出し、可知会長あいさつ(2面掲載)に続いて、決意表明リレーでは円

陣を組むイメージで会場の4か所に設置した演説台から4組織(地域ユニオン、フード連合、愛教組連合、自動車総連)の決意表明を行い、この春闘に込める想いを決意表明リレーで繋ぎました。最後に会場中央の演説台より真野副会長の発声のもと、参加者全員でガンバロ一三唱を行い集会が締めくくられました。

決意表明を行う  
構成組織代表



地域ユニオン 成瀬氏



フード連合 橋口氏



愛教組連合 藤田氏



自動車総連 松下氏



デモ行進の様子



真野副会長のガンバロー

## 会長あいさつ [2025春季生活闘争 1万人総決起集会]



可知会長

本集会の開催にあたり主催者を代表してご挨拶を申し上げます。

冒頭、政治について触れますが、昨年の衆議院選挙を経て国会のあり様が様変わりしました。熟議の国会です。ある面で望むべき国会の姿であるように思います。国民目線の政策が議論されていることは望ましい事であり、引き続き支援する立憲・国民、両党のご奮闘に期待をしつつ、今年度予算や選択的夫婦別氏制度など重要法案の審議を注視して参りたいと思います。

こうした国会の現状を見るにつけ、あらためて選挙の大事さを痛感した方も多いと推察しております。労働組合が政治活動に取り組む意義を再認識する好機と捉え、組合員の理解活動に尽力頂ければと考えております。

さて本日の集会には、連合に集う仲間、約一万人の仲間の皆さんにお集まり頂きました。多くの皆さんが休日にも関わらずご参加頂き、誠にありがとうございます。

今春闘を取り巻く情勢ですが、中長期的には、超少子高齢化や労働力の減少、格差や貧困の拡大など、構造的な課題の解決が見通せない現状です。また短期的に経済については、緩やかな回復基調が維持される見通しであるものの、トランプ大統領の追加関税の影響を危惧する声も高まっており、また、気候変動や地政学的リスクなどの影響で更なる物価上昇の懸念もあります。

国民生活に目を向けますと、物価上昇に賃上げが追いつかず、実質賃金が上がらない状況が続いており、働く者の多くは「暮らし向きが改善した実感がない」とした現状認識にあります。

こうした中で迎えた2025春闘の連合方針は、端的には「賃上げ5%以上・中小は6%以上」を掲げております。大手のみならず中小・小規模事業所に至る全ての働く人に、物価上昇を上回る賃上げがあつてこそ、生活の向上を実感し将来への希望を持つことにも繋がります。賃上げによって個人消費の喚起を図り、経済の好循環を成し得ることこそが、求められる経済社会であると考えます。

今春闘における要求水準は、昨年を更に上回る状況にあります。大手などの先行組合は2月中旬に要求書を提出し、現在も精力的な交渉が展開されております。

その先行組合は、今後、交渉の山場を迎えますが充実した労使協議により、めざす回答の引出しに向け最大限の交渉努力をお願いします。また後に続く組合においても、先行組合の結論や賃上げトレンドを勢いに粘り強く交渉を進めて頂くようお願いいたします。

全ての組合において「昨年以上」の結果に拘り、その流れ・勢いをパート・有期・契約等で働く仲間や労働組合のない職場で働く仲間にも波及させ、全ての働く人の生活向上に繋げていこうではありませんか。

あらためて今春闘において注力するポイントを申し上げますが、それは大手と中小の格差是正や労働組合の無い企業に組合を作ることなどです。

この数年の賃上げで大手と中小の格差が拡大しました。中小企業経営者からは「賃上げしたくても原資がない」、「賃上げもそろそろ

限界だ」とされ、その主な要因として賃 格転嫁が進まないことを挙げています。中小・小規模事業所の組合より経営者の本音として「取引先から選ばれなくなるから値上げを言い出せない」、「取引先に独自基準があり労務費の交渉に応じてもらえない」とする実情や、働く人からは「大手と同じ様に仕事しているのに何故私達の賃金は同じ様に上がらないのか」と悲痛な声も届いています。

中小・小規模事業所の賃上げには、道半ばにある労務費を含む適正取引価格転嫁の徹底が不可欠です。連合加盟組織においては、春の労使交渉の機会に、受発注いずれの立場からも自社の取り組みを点検し、課題解決に向けて労使の話し合いを進めるよう要請致します。適正取引・価格転嫁が徹底され、商品・サービスと労働の価値を認め合う社会の実現をめざして参りましょう。

更にもう1点、今年の特徴ですが、春の取り組みの柱の一つとして、仲間作り・組合作用にも勢力的に取り組むこととしております。その理由は、労働組合が無い企業の賃上げ率が、労働組合がある企業に比べ低い実態にあるためです。

連合への労働相談は、差別や解雇をはじめ賃金に関わる事柄も大変多く、「自社の賃上げは相場の半分以下なのに残業が減らされ生活が苦しい」、「最賃改定で時給UPした分、他の手当が減らされた」などとした切実な事案も寄せられます。こうした相談は、労働組合の無い中小・小規模事業所で働く人たちが大半です。

不安・不満・疑問があつても一人では会社との交渉は難しい、だからこそ労働組合を作り、働くことに関わる課題解決に向け会社と対等の立場で交渉していくことが必要なのです。本日、決意表明頂く地域ユニオン・石川精機労組の成瀬委員長は、こうした思いから仲間を募り2023年9月に組合を結成し、処遇や職場環境の改善に務めています。労働組合があれば!そのことを社会全体に広げて行きたいと考えます。

弱い立場の労働者を守るために労働組合を作る活動は、連合の使命であり社会から求められている役割です。一つでも多くの職場に健全な労使関係を構築する取り組みを進めて参りましょう。

以上、縷々申し上げましたが、これら取り組み通じて、全ての働く者が元気になるよう、「みんなでつくり出す! 賃上げがあたりまえの社会」を合言葉に、今春闘を盛り上げていくことをお願いし、連帯の挨拶と致します。

## 各労組の取り組み事例や課題を共有・議論し、春闘交渉に臨む

### 第2回中小労組学習会

2月15日(土)、中小労組の交渉支援を目的とした、中小労組学習会を開催しました。

前半の事例紹介では、連合愛知 寺田労働条件局長より出身組織(自動車総連)での「春の労使交渉と賃金制度の概要」について説明されました。その後、情報共有として「行政の中小企業支援施策について」と題して、業務改善助成金や賃上げ促進税制等について概要

説明がなされました。グループディスカッションでは、春闘要求内容を元に活発な意見交換が行われました。



「もしも」に備え  
「もしも」を防ぎ  
「もしも」に向き合う。

たすけあいの輪をむすぶ  
**こくみん共済〈全労済〉**  
coop

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住補助または勤務地の民泊生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

## 適正取引化・価格転嫁促進シンポジウム宣言式に出席



適正取引化・価格転嫁促進  
シンポジウム宣言式の様子

2月25日(火) STATION Ai 1階イベントスペースにて開催された愛知県主催「取引適正化・価格転嫁促進シンポジウム」に合わせた共同宣言式に連合愛知 可知会長が出席しました。

2023年2月27日の「適正な取引・価格転嫁を促し地域経済の活性化に取り組む共同宣言」を発出、その1年後となる2024年2月27日の共同宣言団体とともに「取引適正化・価格転嫁推進フォーラム」の開催と共同で決意表明を行い、今回は新たに2団体が加わり計14団体による内容を拡充させた共同宣言を改めて発出しました。

## 連合全国一斉アクションを金山総合前で実施

2月27日(木) 2025春闘に向けた連合全国一斉アクションを金山総合駅前前で実施しました。

連合愛知役員よりPR街宣を行い、会場付近では春闘グッズのペア(ベースアップ)くまちゃんスポンジを配り周知をしました。



金山の街宣の様子

## 雇用契約更新を目前に、全国で労働相談を実施

「安心して働ける雇用を、すべての人に！～みんなの力で職場を改善しよう～」全国一斉労働相談

連合は2月13日(木)～14日(金)に「安心して働ける雇用を、すべての人に！～みんなの力で職場を改善しよう～」をテーマに全国一斉労働相談を実施しました。期間中、連合愛知では119件(昨年47件)の相談を受け付けました。

昨年よりも賃金関係の相談が大幅に増え、退職後に(在籍中の)賃金が支払われない、事業閉鎖の危機などによる賃金未払いの相談があり、それぞれの相談者の置かれた現状に寄り添い、アドバイスをを行いました。



## 県内各地で、36協定締結の重要性を周知

「Aciton!36 36(サブロク)の日」PR街頭宣伝行動



3月6日は「36(サブロク)の日」——

3月6日(木)、連合愛知全11地協は「職場で36協定について知ってもらい、長時間労働や自分自身の働き方について考えてもらう」ことを目的に街頭宣伝行動を行いました。

連合愛知事務局は三河東地協と連携し、豊川駅前にて街頭宣伝行動を行いました。

寒空の中、通勤や通学中の方々に三河東地協と連合愛知の役員が「36協定」締結の重要性をPRするグッズの配布を行いました。

## 「女性の権利と平等」について、街宣を通じて広く社会に訴える

「3.8国際女性デー」街頭宣伝行動

3月7日(金)に金山総合駅前付近で、CNG委員会とジェンダー平等推進委員会のメンバー、連合愛知の専従役員にて、3.8国際女性デーの別名「ミモザの日」にちなんで「ミモザの生花」とグッズの配布を行い「女性の権利と平等」についてPRしました。

また、グッズ配布と同時に街頭演説も実施し、CNG委員会とジェンダー平等推進委員会のメンバーの他にも田島参議院議員と政策推進議員の女性議員2名からも男女平等や政治への女性参画をテーマに演説が行われました。



# あなたのやさしさが広げる大きな支援の輪

## 2024「連合愛知助け合い運動」による募金寄託式

2月26日(水)、愛知県労働者福祉協議会と合同で「連合愛知助け合い運動」「愛知労協赤い羽根募金運動」寄託式を開催しました。

寄託金は、愛知県共同募金会を通して児童養護施設を卒業する児童への就職・就学の支度支援金、福祉施設の施設や設備の整備、障がい者福祉施設の福祉車両の整備、子ども食堂の運営資金、フードバンクや外国人支援を行っている事業所への運営資金などへと配分される予定です。

今年度の寄託金は3,625万9,819円となり、1992年からの累計金額は12億6,607万4,490円となりました。

ご協力いただきました構成組織・組合員の皆さまに深く感謝申し上げます。



## 第5回 執行委員会 2025年2月26日(水)

### 議 事

- 1.構成組織の組織拡大に伴う新規加盟
- 2.2025連合平和4行動への派遣要請
- 3.第50回衆議院議員選挙総括(案)
- 4.第27回参議院議員選挙取り組み方針(案)
- 5.2024年名古屋市長選挙総括(案)

### 確認事項

- 1.2025年度「ともにつくろう労働組合ホットライン」の実施

### 報告事項

- 1.連合本部関係
- 2.連合愛知関係

- 3.地域協議会関係
- 4.行政及び友誼団体関係

### そ の 他

- 1.連合愛知官公部門 2025春闘期の要請行動
- 2.2025年度「交通安全県民運動」の取り組み
- 3.「連合愛知助け合い運動」 組織内任意募金の集約結果と寄託先
- 4.「ワークルール検定(初級・中級)2025・春」の開催
- 5.ハラスメント対策研修の実施
- 6.第8回(拡大)執行委員会(持ち出し)の開催
- 7.当面の日程



## 2025 ハートフルガイドブック 発売開始!

役立ちます! お得な情報をみて下さい!

今年度も購入組織にデジタル版を進呈!

お申込みはこちらから!

飲食店 や レジャー施設 など、  
**割引が受けられる 約2600ものお得な情報を掲載!**

1冊 **700円** (税込) 保存版として労働組合の各拠点に1冊はご購入ください!

お申込みお問合せ (一財)愛知県労働者福祉基金協会 **ハートフルセンター**

TEL 052-684-2311 FAX 052-684-0311

## ハートフルセンター が LINE公式アカウントをはじめました!

ハートフル会員優待のイベント・ショップ・グルメ情報を発信!

左のQRコードを読み込んで友だち追加してくださいね!

ID @407zyubw ID検索Qからも追加できます

QRコードからの友だち追加方法

友だち追加をタップ → QRコードをタップ → QRコードを読み込み「追加」をタップし完了

〒456-0002 名古屋市熱田区金山町一丁目14番18号

詳しくはWEBへ <https://www.heartful.or.jp/> ハートフルセンター

Facebook いいねしてね!

◀ 連合本部 ▶

あなたの「いいね」が社会に向けた世論喚起につながり、あなたの「シェア」が大きな力となります!

### 連合愛知ホームページ

連合愛知の活動紹介、ブログ、各種資料データなどを掲載しています。ぜひ、ご覧ください。